

館報
いりやま

平成26年7月1日現在
世帯数 893戸
男 1,042人
女 1,116人
総人口 2,158人

同報系デジタル防災 行政無線の運用開始

緊急・災害情報などを地域
の皆さんに的確かつ迅速に伝
達するため、旧松本地区内に
同報系デジタル防災行政無線
の整備を進めていきましたが、
この度入山辺地区の整備が完
了し、六月から本格運用を開
始しております。この防災設
備は、屋外拡声子局（屋外ス
ピーカー）と戸別受信機（屋
内用ラジオ型受信機）を通じ
て情報伝達をおこないます。

★放送内容は
・全国瞬時警報システム（J
—ALERT）の情報（国民
の鐘）を放送しています。
なお、十月から三月までは
午後四時三十分放送します。
放送を聞き逃した場合、
テレホンサービス（☎361
8686）で内容を確認でき
ますのでご利用ください。
詳細は広報まつもと五月号
をご覧ください。

★屋外拡声子局
・松風園・南方公民館・橋倉
公民館・西桐原公民館・寺所
公民館・北入中央公民館・原
公民館・入山辺厩所・本村公
民館・美ヶ原分校・駒越公民
館・千手公民館・林業セン
ター・入山辺大仏



屋外拡声子局
（屋外スピーカー）

★戸別受信機
・松風園・入山辺公民館・橋
倉公民館・南方公民館・西桐
原公民館・東桐原公民館・舟
付公民館・宮原公民館・北入
中央公民館・包石公民館・中
村公民館・寺所公民館・竹の
下公民館・千手公民館・駒越
公民館・三反田公民館・奈良
尾公民館・上手町公民館・厩
所公民館・原公民館

・一の海公民館
・大仏公民館
・東部公民館
・本村公民館
・東村公民館
・西村公民館
・牛立公民館
・入山辺保育園（今年度設置）



戸別受信機

実態調査報告会開催

昨年八月二十七日に名古屋
大学の社会教育調査実習の際
に、インタビュー形式でおこ
なわれた聞き取り調査及び九
月五日から十月四日にかけて行
われたアンケート調査の報告
会が六月二十五日に行われま
した。

今回の調査は、松本市の重
要施策である「いきいきとし
た地域づくり」を進めるもの
で、自分たちが暮らす地区や
町会の風土や住民自治活動、
またそれらを支える出張所、
公民館、福祉ひろば等に対し
て、住民がどのような意識を
持ち、日頃どのように関わっ
ているかを調べるもので、調
査対象者は十五歳以上八十九
歳までの1945人の中か
ら、無作為抽出した1000
人とし、回答者は446人（有
効回答票382）となりました。



名古屋大学の
社会教育調査実習

足している人は63%と多く、
良いところは、環境がよい、
災害が少ない、市街地に近い
との回答があった。また、他
地域と比べて回答が多かった
項目に、地域のまとまりがあ
る、人情がある、人とのつな
がり強いなど入山辺地区の
ソーシャル・キャピタルの基
盤が高いことが分かりました。

松田教授は、報告会の最後
に以下の事をお話になり終了
となりました。「少子高齢化の
中で若者の地域活動への参加
が少なくなり、役員のみなり手
がない、役員を務める上で
の負担感があるなどアンケー
ト調査を通じていくつかの課
題が浮かび上がってきた。こ
れらの課題は、それぞれの町
会で知恵を出し合って解決す
ることが求められるが、町会
独自で解決することが困難な
課題もある。「こんな山辺にす
るじゃん会」は、将来に向け
た可能性のある活動を展開し
ていると思われ、町会が抱え
る課題を地域課題として取り
上げて取り組むことは、今後
必要となるのではないだろう
か。地域づくりの将来を左右
するのは、やはり町会の活動
であろうと思われる。四月に
発足した地域づくりセンター
も、その支援方策を検討して
いく事が重要な仕事となる。」

第18分団だよ!

日増しに暑さが増す季節となつてきましたが、今年の前半を振り返りますと、2月には二週連続での記録的豪雪がありました。自宅周囲の除雪も儘ならない状況でしたが、消防団としては緊急時の水利確保のため、消火栓及び防火水槽周辺の雪かきを実施しました。特に三城地区では、地元団員の現地情報から、手探りでの防火水槽の雪かきを実施しました。改めて、地元の状況を把握できる団員確保の重要性を痛感するところで

す。入山辺地区では、昨年度から火災は発生しておらず平穏な日々を過ごしておりますが、有事の際慌てない為にも、日頃の防火と水利確保の為、防火水槽など防火設備周辺の清掃、整備活動へご協力をお願い申し上げます。

先日、入山辺地区内において行われました自主防災消防訓練にて、放水の際にホースに振られ訓練参加者が転倒し、大怪我をされたとの連絡がありました。怪我をされた方の早期回復を願うと共に御見舞い申し上げます。改めて各地区的町会長及び防災

部長様におかれましては、地区内訓練の実施計画がありましたら、各地区消防団の各部の部長に連絡をお願い致します。また、出張所に出動要請の申請書がありますので、起票につきましてもお願い申し上げます。団員参加で訓練の安全管理が図ればと考えるおられます。

第18分団では、男女問わず新入団員を募集しておりますので、是非入団頂きます様、重ねて宜しくお願い致します。

大仏地区防災訓練の様子



三城地区防火水槽の除雪



町内公民館活動

六月に松本市町内公民館長の総会と、新任館長研修会が開催されました。その中で、町内公民館活動の役割は、町内の活性化をどのようにしていくかということ、具体的な活動として、①交流活動②親睦活動③学習活動④文化活動⑤健康福祉活動⑥スポーツ活動⑦広報活動⑧団体・サークル活動への支援活動等があり、町内の実情に合わせて工夫し活動することとなります。

入山辺地区でも、町内公民館での親睦、交流活動や地域課題の共有化と、共同学習を通じて、子どもからお年寄りまでが知り合い、支え合いながら、豊かに生き生きと生活できる地域社会の基盤づくりに結び付く活動ができるようにしていきたいと思っております。宜しくお願い致します。



また、今年度の入山辺地区町内公民館長の視察研修を五月二十五日におこないました。内容は、島内にある白木染工場で、かつて山辺で栄えた「藍染体験」をおこないました。ハンカチ、Tシャツ、手ぬぐい、テーブルクロス等に各自、思い思いの模様をデザインし、藍染に挑戦しました。思っていたより簡単に染めることができ貴重な体験ができました。

町内公民館長会長
小出 晃永

町会对抗球技大会の結果

6月22日に開催されましたが、雨天のため男子ソフトボールは中止となりました。女子ソフトボールの結果は次のとおりです。

- 優勝 上手町
- 準優勝 南方
- 第三位 大和合・牛立・三城



ぼくらの少年団

山辺小6年 桑島 直寛
ぼくは、第二人と、ぼくの住む厩所で少年団を結成しています。この少年団の活動は大きく分けて四つあります。一つ目は、村の人に進んであいさつしたり、雑談をしたりして関わりを深める事です。二つ目は、地区の行事に積極的に参加していく事です。三つ目は、地区探検です。おにごっこや、竹を使ったチャンバラ、時にはおかしを持って町内をプチ探検したりもします。

四つ目は、たまにですが、となりの原地区の少年団と互いの地区で遊ぶことです。ぼくは、千葉に住んでいたことがありますが、入山辺のほうが、自然が豊かで、色々な遊びができ、毎日がとても楽しいです。

これからは、地区のお年よりのお手伝いをしたり、村の人の役に立つことをして、もつと役に立つ人になり、楽しく充実した生活をしていきたいです。

ぼくたちの少年団にもっと人数が増えるといいと思っています。

